

医療情報学〈B7〉

講義担当者

医療情報部の教員

I 一般学習目標

情報技術が現代の医療に与えた変化と果たしている役割を理解し、医療の情報化の目的と意義を知る。また医療現場における診療情報の流れやその管理方法について学ぶ。これらにより医療を情報科学的視点から統合的に再認識する。

II 個別学習目標

- (1) 「情報」の概念やその科学的取り扱いについて説明できる。
- (2) 医療で扱う診療諸記録の種類を列挙できる
- (3) 診療記録の特徴と要件を列挙できる
- (4) 診療記録の整備の意義、診療情報の電子化の意義、二次利用の方法について説明できる。
- (5) 情報通信技術の医療への応用例についてその事例と成果を説明できる。
- (6) 病院の組織や業務と情報の流れを説明できる。
- (7) 病院情報システムの病院業務における機能を説明できる。
- (8) 電子カルテの概念および医療にもたらす寄与について説明できる。
- (9) 電子化された診療情報の作成と管理を説明できる。
- (10) 地域医療における情報システムの果たす役割について説明できる。
- (11) 医療における情報共有の意義を説明できる。
- (12) 医療情報の標準化の必要性と事例について説明できる。
- (13) 医療の情報化の動向と将来について説明できる。

III 教育内容

No.	月日	曜日	時限	タイトル	内容
1.	H30. 9. 27	(木)	2	医療情報学序説 － I C T と医療	医療情報学とは 医療の情報化の目的と成果
2.	H30. 9. 27	(木)	3	医療情報システム I －病院情報システムの機能	情報科学的にとらえた病院 病院情報システムの発展過程
3.	H30. 10. 4	(木)	2	医療情報システム II －オーダエントリシステム	オーダエントリシステム 画像情報システム
4.	H30. 10. 4	(木)	3	医療情報システム III －電子カルテシステム	電子カルテの概念 電子カルテが医療にもたらす影響、諸課題
5.	H30. 10. 11	(木)	2	医療情報システム IV －地域医療情報システム	地域医療情報ネットワーク 遠隔医療システム
6.	H30. 10. 11	(木)	3	医療情報の共有と標準化	医療の情報化と診療情報の共有 医療情報の標準化とその効果
7.	H30. 10. 18	(木)	4	国策としての医療情報化と 今後の動向	国策としての医療の情報化の動向 近未来の医療情報化の方向性

IV 教育方法

講義：テーマにより適宜ビデオ教材を使用する。

V 評価の方法

講義時間中のレポート（40%）および試験（60%）で評価する。

VI 推薦する参考書

日本医療情報学会 編：「医療情報」第5版 医療情報システム編、日本医療情報学会／篠原出版新社
その他講義中に紹介